

【校訓】

自らなせ
協力せよ
気魄をもて

星華



下松中学校 学校だより
第8号 R8.1.27

3学期のスタートを振り返って –ストロングポイント、大切にできていますか？

3学期が始まり、1月も終わりに近づいてきました。現在、どの学年でも、落ち着いた態度で学習や部活動に取り組む姿が見られ、学年の節目に向けて前向きな雰囲気が広がっています。

3年生は進路実現に向けた取り組みが本格化し、面接練習や学習計画の再確認に真剣に向き合っています。卒業までの限られた日々を大切に、自らの目標に向かって努力する姿が多く見られます。1・2年生も、生活リズムを整えながら新学年を見据えた行動が増え、学習面でも集中した取組が続いています。

始業式では、「自分の得意なことや長所(ストロングポイント)を伸ばすこと」をテーマに話をしました。得意な分野を伸ばすことで自信が生まれ、結果として短所の改善にもつながることがあります。日々の学校生活の中で、子どもたちが自分の良さを見つけて伸ばそうとする姿が見られるようになってきました。

今年の干支である午(うま)は、前進や行動力を象徴するといわれています。生徒一人ひとりが、自ら考えて動く力をさらに高められるよう、3学期も継続して支援していきます。

自分の立てた目標を、定期的に振り返ろう！

各学年の掲示物より



1年



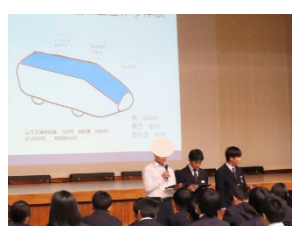
2年



3年

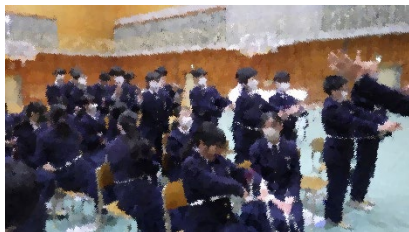
くだまつ愛、育っています！ –1年生 地域学習発表会–

地域学習「くだまつ活性化プロジェクト」の集大成として、地域学習発表会(KUDACHU EXPO2025)を実施しました。子どもたちは、下松市の歴史や文化、産業、人の温かさなど、これまで気づかなかった地域の魅力を自分たちの視点で発見し、班ごとに工夫を凝らしたプレゼンテーションで伝えました。友達の発表を聴く中で、地域の多様な良さに改めて気づく姿も見られました。この学習を通して、子どもたちの中に「自分たちの地域をもっとよくしたい」という気持ちが芽生え、地域を誇りに思う心がさらに育っています。また、中学生ならではの柔軟な発想を生かし、まちの未来につながる多様なプロジェクト案が次々と提案され、会場に大きな驚きと期待が広がりました。



防災意識を高めました！ －2年生 専門家による防災出前授業－

大島商船高等専門学校の幸田三広教授にお越しいただき、防災についての講義・演習を受けました。東日本大震災の写真を用いた説明では、生徒から「津波の破壊力を改めて実感した」という声が聞かれ、ハザードマップを使った学習では「自宅周辺の危険な場所がよく分かった」といった気づきが生まれました。また、防災グッズの紹介やロープワークの実習にも意欲的に取り組み、「家でも備えを見直してみたい」という感想が見られました。



新年度に向けて －頑張れ3年生！待っています新入生－

3年生は、各高校の入試が次々に始まり、まさに受験の真っ最中です。教室では、進路実現に向けて努力する姿が見られています。残りわずかな中学校生活の中で、自分の力を信じて全力を出し切ってほしいと思います。一方、来年度入学予定の6年生を迎えて入学説明会を行いました。説明会後には、数学・美術・英語に分かれて中学校の授業を体験し、少し緊張しながらも、中学校での学びに期待を膨らませている様子でした。



重要!

保健室の利用について －心身の健康を整えましょう－

本校ではこれまで、状況に応じて保健室でのテスト受験を認めてきました。しかし、感染症の流行や、保健室が本来、傷病者が休養する場所であることを踏まえ、今後はこの対応を改めることといたしました。保健室の利用については、通常から「1時間以内の利用で、回復が見込める場合にのみ休養する」という原則を設けており、長時間の滞在や学習活動の場として使用することは想定しておりません。

テスト当日に体調不良がある場合でも、発熱がなく、感染症の疑いがないと判断される際には、現在実施している“別室でのテスト受験”を利用することができます。

今後も、生徒が安心して学習に取り組める環境づくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

心身の健康を整え、万全の体制でテスト当日を迎えられるよう、引き続きご家庭でのご協力をお願いいたします。

お知らせ －1月、2月の行事から－

- 1月30日(金) 1・2年習熟度テスト 3年学年末テスト
- 2月 5日(木) 学校保健安全委員会
- 2月19日(木)・20日(金) 1・2年学年末テスト
- 2月27日(金) 2年立志式